

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 7 月号

2023年7月3日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋)

令和 5 (2023) 年 4 月分速報からの改訂状況 (令和 5 (2023) 年 6 月 26 日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202304rsummary.pdf>

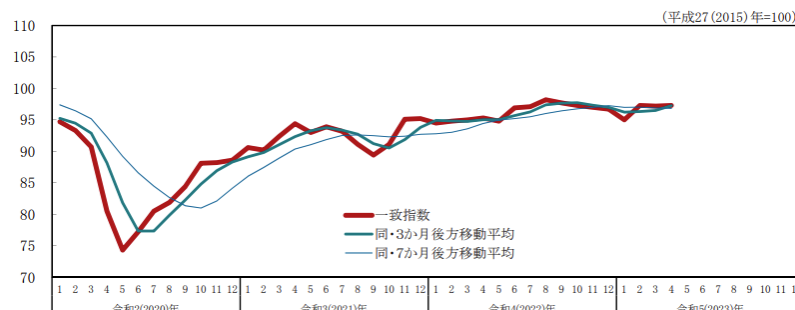
- ① 4 月分 CI (平成 27 (2015) 年 = 100) (改訂値) は、  
先行指数：96.8、一致指数：97.3、遅行指数：99.6

	4 月分 C I (平成 27 (2015) 年 = 100)	
	速報	改訂
先行指数	97.6	96.8
一致指数	99.4	97.3
遅行指数	101.2	99.6

- ② 一致指数の基調判断

景気動向指数 (C I 一致指数) は、改善を示している。  
(速報時点 (足踏みを示している) から上方修正)

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ :

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 5 (2023) 年 4 月分 (速報) (令和 5 年 6 月 7 日公表)」 pdf :

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202304psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202304report.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（6月）（内閣府、令和5年6月22日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/06kaigi.pdf>

### <日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

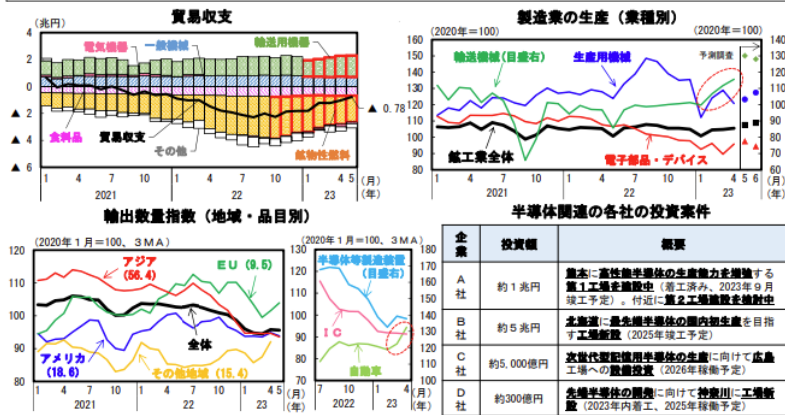
- ・ 景気は、緩やかに回復している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

### 今月の指標(2) 輸出と生産の動向

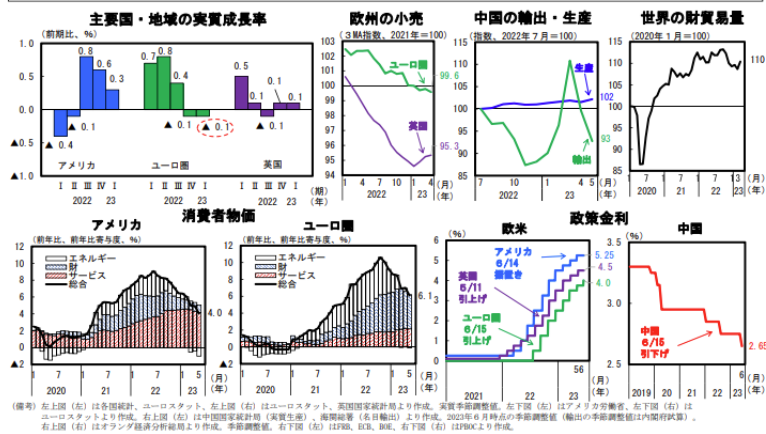
- ▶ 貿易収支は、原油価格下落等に伴う鉱物性燃料の輸入減少と、供給制約緩和に伴う自動車の輸出増加を背景に、赤字幅が縮小傾向。
- ▶ こうした中、輸出数量は、ICや半導体製造装置では弱めの動きだが、自動車の輸出増加によって全体としては底堅い動き。同様に、製造業の生産も、輸送機械の回復によって全体として持ち直しの兆し。
- ▶ 半導体部門は、足下では市況の悪化が続くものの、中長期的な需要拡大も見据え、先端分野の工場新設などで前向きな投資の動き。今後、これらの進捗に伴う関連資材・設備の生産増加にも期待。



(備考) 1. 左上図及び左下図は、財務省「貿易統計」により作成。内図は、内閣府による半導体調査。2. 右上図は、半導体調査により作成。3. 右中図は、各社発表等による共同制作。

### 今月の指標(3) 世界経済の動向

- ▶ 世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直し。ユーロ圏では、これまでの物価高の影響もあり消費が弱含むなど、景気は足踏み状態。欧米の消費者物価は、エネルギー価格下落を受け上昇率に一段落がみられるが、国内の財・サービス価格への波及は、ユーロ圏を中心に引き続き進行。
- ▶ 中国では、世界的な物価上昇や貿易の鈍化等を受け輸出が伸び悩むなど、感染収束後の回復ペースは緩やか。こうした中、直近、アメリカでは政策金利を据え置き、ユーロ圏は利上げ、中国は利下げ。今後とも世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇等による下振れリスクに留意。また、金融資本市場の変動の影響を注視。



(備考) 左上図(左)は各国内閣統計、ユーロスタット、左上図(右)はユーロスタット、英国国家統計局より作成。実質半導体調査。左下図(左)はアメリカ労働者、左下図(右)はユーロスタットより作成。右上図(左)は中国国家统计局(実質生産)、海關總署(名目輸出)より作成。2023年6月時点の半導体調査(輸出の半導体調査は内閣府試算)。右上図(右)はブラジル統計局分析局より作成。半導体調査。右下図(左)はFRED、右図(右)はFREDより作成。

- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

## ■ 設備投資 令和5年4月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年6月15日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

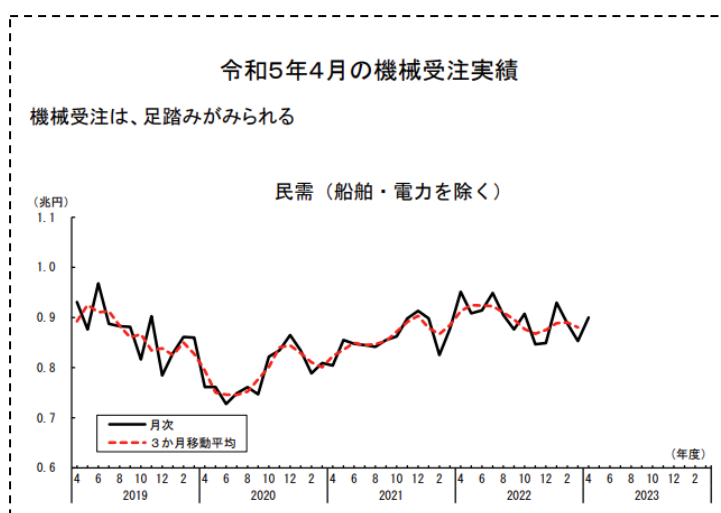
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2304juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2023（令和5）年3月前月比2.8%減の後、4月は同11.5%増の2兆7,186億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比8.5%増の1兆337億円、官公需は同6.8%増の3,220億円、  
外需は同12.3%増の1兆1,287億円、代理店は同8.6%増の1,313億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2023（令和5）年3月前月比3.9%減の後、4月は同5.5%増の9,000億円となった。  
このうち、製造業は同3.0%減の4,100億円、非製造業（除く船舶・電力）は同11.0%増の4,880億円となった。

(以下図表は「令和5年4月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2304gaiyou.pdf>



**対前月（期）比** (単位: %)

期・月 需要者	2022年 (令和4年)			2023年 (令和5年)		2023年 (令和5年)			
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し	1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	16.6	△9.3	△1.0	△8.7	6.3	△10.2	△0.8	△2.8	11.5
民需	9.5	△1.9	△8.3	7.1	2.8	12.0	3.1	△12.3	8.5
〃（船舶・電力を除く）	6.7	△1.6	△4.7	2.6	4.6	9.5	△4.5	△3.9	5.5
製造業	5.7	△2.8	△10.6	1.9	△0.6	△2.6	10.2	△2.4	△3.0
非製造業（除船舶・電）	6.9	△0.4	2.1	3.2	9.2	19.5	△14.7	△4.5	11.0
官公需	4.0	△8.4	△3.6	19.9	9.3	5.4	45.6	△15.5	6.8
外需	22.6	△12.8	2.4	△21.4	8.7	△25.2	2.3	△10.5	12.3
代理店	10.4	△3.7	1.4	0.1	△5.0	2.8	△6.8	5.4	8.6
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-	1.6	0.2	△1.1	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。  
2. △印は減少を示す。  
3. 見通しは2023年3月末時点の調査。

▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年4月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2304juchu-1.pdf>

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

## ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2023年6月30日発表)

【2023年5月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2020\\_202305sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2020_202305sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2020\\_202305sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2020_202305sj.html)

### ー 生産は緩やかな持ち直しの動き ー

- ・ 今月は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、6月は上昇、7月は低下を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は緩やかな持ち直しの動きで推移している。

### ・生産は、前月比-1.6%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、無機・有機化学工業等  
上昇業種：生産用機械工業、輸送機械工業(除、自動車工業)、  
鉄鋼・非鉄金属工業

### ・出荷は、前月比-0.6%の低下。

低下業種：自動車工業、輸送機械工業(除、自動車工業)、無機・有機化学工業等  
上昇業種：生産用機械工業、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業等

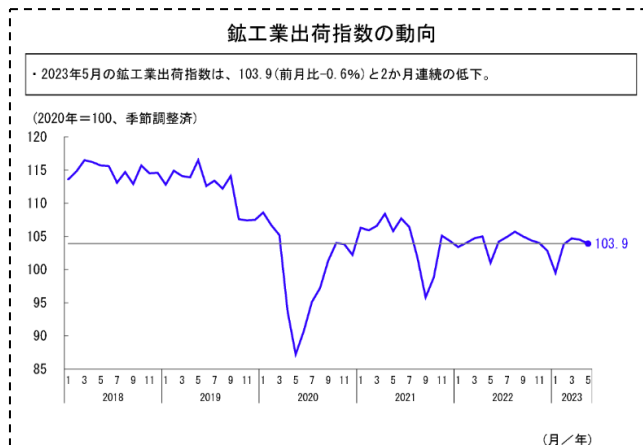
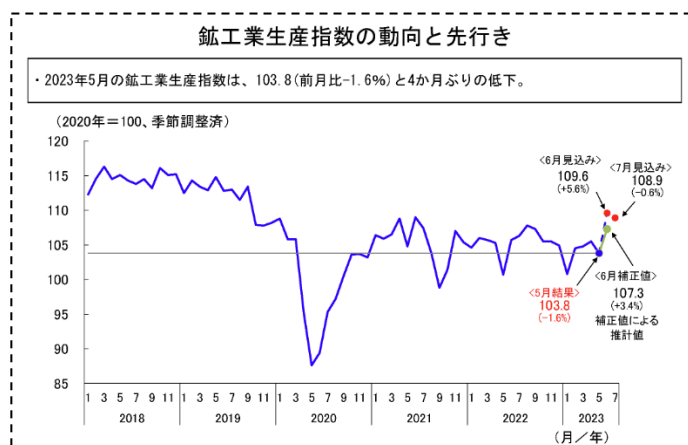
### ・在庫は、前月比1.5%の上昇。

上昇業種：自動車工業、生産用機械工業、汎用・業務用機械工業等  
低下業種：電子部品・デバイス工業、無機・有機化学工業、石油・石炭製品工業等

## 5月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230630\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230630_1.html)

(解説) 5月の鉱工業生産は、これまでの上昇の反動に加えて、部材供給不足の影響などを受けて、自動車工業等が低下したことなどから、全体として前月比マイナス1.6%と、4か月ぶりの低下。基調判断は、「生産は緩やかな持ち直しの動き」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年6月30日発表より抜粋)

#### 【2023年4月動向概況】

- ・ **2023年4月のグローバル出荷額は**  
3,305億円、前年比95.6%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ **品目別出荷は**  
受動部品 (前年比88.9% 1,527億円)、接続部品 (同96.0% 765億円)、  
変換部品 (同104.9% 542億円)、その他の電子部品 (同110.7% 469億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**  
日本 (前年比107.3% 771億円)、米州 (同96.1% 387億円)、  
欧州 (同102.4% 348億円)、中国 (同91.4% 1,044億円)、  
アジア・その他 (同88.3% 751億円) となった。

#### 1. 月別出荷金額 (2023.06.30発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	3,305	95					3,305	95
(日本)	771	107					771	107
<b>受動部品</b>	<b>1,527</b>	<b>88</b>					<b>1,527</b>	<b>88</b>
コンデンサ	1,084	89					1,084	89
抵抗器	154	95					154	95
トランス	43	107					43	107
インダクタ	217	85					217	85
その他	27	63					27	63
<b>接続部品</b>	<b>765</b>	<b>96</b>					<b>765</b>	<b>96</b>
スイッチ	312	103					312	103
コネクタ	449	91					449	91
その他	3	134					3	134
<b>変換部品</b>	<b>542</b>	<b>104</b>					<b>542</b>	<b>104</b>
音響部品	23	102					23	102
センサ	183	89					183	89
アクチュエータ	335	115					335	115
<b>その他の電子部品</b>	<b>469</b>	<b>110</b>					<b>469</b>	<b>110</b>
電源部品	239	139					239	139
高周波部品	230	91					230	91

#### 2. 地域別出荷金額 (2023年度)

地域別出荷金額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,305	95					3,305	95
日本	771	107					771	107
米州	387	96					387	96
欧州	348	102					348	102
中国	1,044	91					1,044	91
アジア他	751	88					751	88

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上